

**先天性サイトメガロウイルス感染の確定診断のための  
生後3週間以内の新生児尿を用いたCMV核酸検査が保険適用になりました（修正版）**

日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会

2018年9月作成

2019年12月修正

先天性サイトメガロウイルス（CMV）感染の診断は、生後3週間以内の新生児の尿中のCMV核酸検出によって行います。この度、生後3週間以内の新生児尿を用いたCMV核酸検査が2018年1月より保険適用となりました（保険点数850点）。2018年9月現在、株式会社SRL、株式会社LSIメディアエンス、株式会社BMLでの受託検査も行われています。

**尿CMV核酸検出の保険診療における注意事項**

- 検査対象は生後3週間以内の新生児の尿です。この時期を過ぎると後天性感染と区別できません。尿以外の検体は使えません。
- 先天性CMV感染のリスクを有する新生児（表参照）を対象に確定診断を目的とした定性試験です。
- 等温核酸増幅法により測定した場合に1回に限り算定できます（保険点数850点）。
- 本検査に用いる体外診断用医薬品として、CMV核酸検出試薬「ジェネリス CMV」（株式会社シノテスト）が販売されています（2018年9月現在）。
- 感染症免疫学的検査のグロブリンクラス別CMV抗体検査をあわせて実施した場合には、主なものだけが算定されます。
- この保険診療は、CMV感染のスクリーニング検査としては使用できません。

**表 先天性CMV感染のリスクを有する新生児の例**

<p>① 症状を有する新生児</p> <p>【新生児】</p> <p>小頭症</p> <p>水頭症、脳室拡大</p> <p>脳室周囲石灰化</p> <p>大脳皮質形成不全</p> <p>肝脾腫、肝機能障害、黄疸</p> <p>出血斑、ブルーベリーマフィン斑</p> <p>聴覚障害疑い（新生児聴覚スクリーニング refer の判定）</p> <p>網膜脈絡膜炎</p> <p>SGA</p> <p>など</p>	<p>② 妊娠中にCMV感染が疑われた妊婦からの出生児</p> <p>【妊婦】</p> <p>妊娠中の感染徴候（発熱やリンパ節腫脹）</p> <p>血中CMV IgM陽性や妊娠中のCMV IgGの陽転化</p> <p>③ 胎児期に異常所見があった新生児</p> <p>【胎児】</p> <p>胎児発育不全</p> <p>胎児超音波検査での異常所見</p> <p>脳室拡大、頭蓋内石灰化、小頭症、脳室周囲嚢胞</p> <p>腹水、肝脾腫</p> <p>腸管高輝度</p> <p>など</p>
---	--